

技術・家庭科学習指導案（家庭分野）

指導者 佐藤 純子

- 1 日時 平成24年7月6日（金）2校時
- 2 学級 上田中学校1年2組 男子17名 女子15名 合計32名 3階被服室
- 3 題材名 日常着の活用

4 題材について

学習指導要領「C 衣生活・住生活と自立」の中に「(1) ア 衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できること。 イ 衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができること。」がある。本題材では、衣服の社会生活上のはたらきを理解し、目的に応じた着用や個性を生かした着用について考え、工夫するとともに、衣服の計画的な活用に向けた適切な選択ができるようになることをねらいとしている。生徒たちは思春期を迎え、ファッションへの関心は高まりつつあるが、何をどのように着用したらよいかについての視点が十分ではない。そのような生徒の現状を考えると、衣服の社会生活上のはたらきを理解し、自分らしく目的にあった着用の仕方を考えること、そのための衣服の選択について基本的な知識を身に付け、生活に生かしていくことは、自立した衣生活のために必要なことだと考える。

本学級の生徒は、課題に対しては前向きであるが、学習したことを自分のことばでまとめたり人に伝えたりすることが苦手である。衣生活に対する関心は66.7%と高く、土日も部活動があるため運動着で過ごすことが増えたが、買い物や遊びに行くときは自分で私服を選んで出かけている。私服を選ぶ際は、何となく気に入ったものを着ている生徒が多く、目的に合わせたり、色や形による効果を意識したりしながら、積極的に自分らしさを表現しようとする意識は高くない。衣服の購入についても53.3%の生徒が自分で選んで購入した経験をもつが、親が提示した中から選んだり、最後は親に選んでもらったりという状況である。

衣服のはたらきについては、身近な衣服の例を出して生活行為と結びつけながら考えることで理解を深めたい。また、自分らしく目的に合わせた着方についての学習では、T. P. O. やコーディネートの意味を押さえた後、コーディネートを左右する要素について教え、それらの要素をふまえた実際のコーディネートに取り組みせることで、実践化が図られるように指導したい。さらに、これらの学習を元に自分の手持ちの衣服を見直し、衣服の購入を含めた衣服の計画的な活用について考えていくという流れで、本単元の学習を進めていく。

指導に当たっては、私服を持ち寄せ、衣服の活用についての関心を高め、生活における実践化が図られるように配慮する。

5 指導と評価の計画（別紙）

6 本時の達成目標

生活や技術への関心・意欲・態度	目的に合わせた着方について関心をもち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。
生活を工夫し創造する能力	目的に合わせた着方や自分らしく着るための衣服のコーディネートについて考え、工夫している。 <生徒の記述例> 暑い季節なので、涼しい印象を与えられるように、寒色で全体をまとめた。
生活の技能	
生活や技術についての知識・理解	

7 題材について

(1)「教えて考えさせる授業」にかかわって

本時は、評価規準の「生活を工夫し創造する能力」の「目的に合わせた着方や自分らしく着るための衣服のコーディネートについて考え、工夫している。」を主にねらったものである。

- ①【説明する】……T. P. O. やコーディネートの意味を押さえた後、コーディネートを考える際の要素として、「色」「柄」「形」があることを取り上げる。色自体がもつイメージ（単色としてもっているイメージ、「暖色系」「寒色系」「同系色」「反対色」「モノトーン」など色の組み合わせによるイメージ）や、柄や形による錯視効果（柄の方向による見え方の違い、形による見え方の違い）について説明する。
- ②【理解の確認】…T. P. O. や相手に与えたい印象に合わせて、実際に衣服の組み合わせを変えていくことを通して、「色」「柄」「形」についての理解状況をモニターする。単色が持つイメージや色の組み合わせによって生じるイメージの概念があいまいであったり、その衣服の色や柄や形がもっている効果について読み取って表現することができなかつたりすることが十分に考えられる。ペアで説明し合わせ、生徒のかかわり合いを通して、不十分の理解を表出させ、修正をはかりたい。
- ③【理解深化】……学習したことを生かして、日常生活の中でも自分の考えでコーディネートできるようになるために、持ち寄った衣服を使って、グループ毎にT. P. O. や「色」「柄」「形」に合わせたコーディネートを考えて発表させ、その後、個人毎に「小物の工夫」も加えたコーディネートについて文章で表現させるという理解深化課題に取り組みさせる。
- ④【自己評価活動】…T. P. O. を考え、自分らしさを表現するコーディネートをするためには、「色」「柄」「形」というポイントを押さえることが有効であることへの気づきや、コーディネートの基本を今後の衣生活に生かしていきたいなどを記述できるようになってほしい。

(2)「表現すること」にかかわって

本時で大切にしたい「表現する」活動は次の2点である。

1点目は、「理解の確認」段階の「色」「柄」「形」がもたらす印象や効果の確認場面で、コーディネートについて、学習した用語を用いて説明していく場面とする。ペアで説明し合うことにより、不十分の表出を十分に行わせ、生徒のかかわり合いを通して修正を図っていききたい。2点目は、「理解深化」段階の、持ち寄った私服をT. P. O. や個性に合わせてコーディネートしてみる場面とする。コーディネートについて、様々な視点から考えることで幅が広がること、自分の意見と他者の意見を比較・検討していく中で自分らしい表現の仕方が明確になっていくこと、他の生徒の衣服と組み合わせることで新しい発見があることを期待して、グループでの活動とする。T. P. O. に合ったコーディネートについて、かかわり合いの中で考えていくようにさせる。

8 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価の観点・方法	教材・教具等
説明する 10分	1 前時までの復習をする。 2 課題を把握する。			学習プリント
	T. P. O. を考えながら、自分らしいコーディネートをしてみよう			
理解の確認 5分	3 「T. P. O.」「コーディネート」の意味を知る。 4 コーディネートの基本として「色」「柄」「形」を取り上げ、効果を知る。 「色」—反対色、同系色 モノトーン 暖色、寒色 「柄」—縦じま、横じま 大柄、小柄 「形」—Vネック クルーネック ストレートネック 襟の有無 切り替えの有無	<ul style="list-style-type: none"> 色相環を用いて説明し、単色の場合や色を組み合わせた場合の効果について、映像や実物を提示しながら理解させる。「柄」や「形」についても、同様に説明していく。 映像や実物を提示した際は自由な感覚で感想を言わせ、印象は個々に違っていいことと一般的な考え方があることを分らせていく。 		紙板書 色相環 映像資料 「反対色」「同系色」「暖色」「寒色」「モノトーン」「縦じま」「横じま」「大柄」「小柄」「Vネック」「ダッチネック」「ストレートネック」「襟の有無」「切り替えの有無」
	5 衣服のコーディネートの例を示し、その効果についてペアで説明し合うことで、理解の確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 「説明する」の段階でつけたことばを用いるよう指示する。 生徒の教え合いを通して、ことばの理解や使い方の不十分さを修正・補充していくよう指示する。 		実物 ・Tシャツ ・シャツ
理解深化 25分	6 持ち寄った私服を、コーディネートする。 ・グループ毎に行う。 ・T. P. O. を提示。 ・トップだけ考える。	<ul style="list-style-type: none"> 「色」「柄」「形」の要素を必ず一つ入れることを確認する。それができていれば、素材や飾りなど別の視点も入れてよいこととする。 	8 【生活を工夫し創造する能力】 目的に合わせた着方や自分らしく着るための衣服のコーディネートについて考え、工夫している。 〈記述内容〉 A:複数の視点から考えている。 C:コーディネートの例を一つ例示する。	生徒が持ち寄った私服 T. P. O. を示した紙板書 ハンガー
	7 考えたコーディネートについて発表し、意見交換を行う。	<ul style="list-style-type: none"> グループ同士の意見交換を行ったのち、全グループのコーディネートを掲示し、いくつかのグループに発表させる。 		
自己評価活動 10分	8 各グループから出されたコーディネートから一つ選び、自分が考えたコーディネートを文章にまとめていく。	<ul style="list-style-type: none"> トップのコーディネートに合うように、ボトムや靴や小物などを付け加えさせて考えさせる。「色」「柄」「形」にかかわることばは必ずつかうよう指示する。 		資料
	9 学習課題に対して振り返り、本時のまとめを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 色の効果を意識したコーディネートの例を示す。 		
	10 次時の学習内容を知る。			

指導と評価の計画

1 年 家 庭		単元名 (題材) 1 日常着の活用		総時間	3 時間扱い
学習指導要領の指導事項				単元の目標	
C 衣生活・住生活と自立 (1) ア 衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できること。 イ 衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができること。				衣服の社会生活上のはたらきについて知り、目的に合った服装について考えるとともに、目的に合わせた衣服を選んだり、自分らしい着方を考えたりすることができる。また、衣服の計画的な活用について考え、既製服を選ぶポイント、サイズや取扱い絵表示の見方がわかり、衣服の適切な選択ができる。	
生活や技術への関心・意欲・態度		生活を工夫し創造する能力		生活の技能	生活や技術についての知識・理解
関① 衣服と社会生活とのかかわりに関心をもち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。		工① 目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、工夫している。			知① 衣服の社会生活上の機能について理解している。
		工② 目的に応じた衣服の適切な選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。		技① 既製服を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。	知② 衣服の計画的な活用の必要性を理解している。 知③ 既製服の表示と選択に当たっての留意事項について理解している。
時	主な学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A) の例	評 価 事 例	
1	小学校の学習を振り返る。 ・保健衛生上のはたらき ・生活活動上のはたらき 衣服の社会生活上のはたらきについて例を見ながら理解する。	関① 衣服と社会生活とのかかわりに関心をもちている。 知① 衣服の社会生活上のはたらきについて理解している。	・衣服と社会生活とのかかわりに関心をもち、 <u>自分の生活とかかわらせながら考えようとしている。</u> ・衣服の社会生活上のはたらきについて理解し、 <u>具体的な着用の例をあげることができる。</u>	2 持ち寄った衣服を使って、小グループでコーディネートを考えたあと、個人で考えたコーディネートを文章で表現する場面 (工① 発表) 「反対色」「同系色」「暖色」「寒色」「モノトーン」などの色の組み合わせによる効果が考えられているか、柄の種類や大きさ、形の違いによる周囲に与える印象について考えられているかを評価対象とする。 ■おおむね満足 (B) ■十分満足 (A) の例	
2 (本時)	自分らしく着ることの大切さ、コーディネートの必要性を知る。 コーディネートする際のポイントを知り、実際に T・P・O に合わせた自分らしいコーディネートを考える。	関① 目的に合わせた着方について関心をもち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。 工① 目的に合わせた着方や自分らしく着るための衣服のコーディネートについて考え、工夫している。	・目的に合わせた着方について関心をもち、 <u>色・柄・形などの要素を意識しながら、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。</u> ・目的に合わせた着方や自分らしく着るための衣服のコーディネートについて考え、 <u>複数のパターンを考えたり、帽子やマフラーなどの小物を加えたりしながら工夫している。</u>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・暑い季節なので、涼しい印象を与えられるように、寒色で全体をまとめた。 ・落ち着いた印象を与えなかったので、モノトーンの白と黒のシャツにし、灰色のハーフパンツと合わせた。 ・背が高く見えるように、縦じまのシャツを選び、下は縦のラインが入ったハーフパンツを選んだ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・暑い季節なので、涼しい印象を与えられるように、寒色で全体をまとめた。Vネックにして、スポーティな印象を与えるようにした。 ・落ち着いた印象を与えなかったので、モノトーンの白と黒のシャツにし、灰色のハーフパンツと合わせた。シャツの柄が縦じまなので、背を高くみせる効果もある。 ・元気を表現したいので、大きな柄の T シャツを選んだ。黄色を大胆に使っているので、活発な感じがする。帽子は白いものを合わせ、夏らしいさわやかさを出した。</p> </div>	

3	<p>自分の衣生活を振り返り、計画的な入手と活用の必要性を知る。</p> <p>既制服についている5つの表示の意味と種類、表示の読み取り方、既制服の選び方について知る。</p> <p>実際の衣服の表示から必要な情報を読み取り、自分の判断で購入について検討を加える。検討結果を発表し合い、自分の考えをさらにまとめてみる。</p>	<p>知② 衣服の計画的な入手と活用の必要性を理解している。</p> <p>知③ 既制服の表示の種類と意味、既制服の選び方について理解している。</p> <p>技① 既制服を選ぶために必要な情報を収集・整理することができる。</p> <p>工② 衣服の適切な選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の計画的な入手と活用の必要性を理解し、<u>費用、収納スペース、管理の手間、環境への影響などの観点から説明できる。</u> ・既制服の表示の種類と意味、表示に記載されている<u>数字や絵の表している意味、既制服の選び方について理解している。</u> ・既制服を選ぶために必要な情報を、様々な観点から<u>読み取り、収集・整理することができる。</u> ・衣服の適切な選択について、<u>自分の好みや予算、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。</u> 	<p>T. P. O. や自分らしさを表現する方法を考えながら「色」「柄」「形」の中の一つの視点からコーディネートし、「反対色」や「縦じま」などのことばをつかって、コーディネートのポイントについて説明している。</p> <p>T. P. O. や自分らしさを表現する方法を考えながら「色」「柄」「形」の中の複数の視点からコーディネートしたり、コーディネートの例を複数考えたりし、「反対色」や「縦じま」などのことばをつかって、コーディネートのポイントについて説明している。</p> <p>【C：指導の手立て】</p> <p>コーディネートの方向性が定まらない場合は、周囲の人にどんな印象を与えたいか、どんなふうに見せたいかを考えさせ、その結果に沿って「色」「柄」「形」のどこに視点を置くかを一緒に決めていくなどの支援を行う。</p> <p>コーディネートの方向性は定まっているが、実際の組み合わせや選択で迷っている場合は、コーディネートの例を観察させ、比較してみるよう助言する。</p>
---	---	--	--	---

「自分らしく目的に合わせた着方」を学習して

自己評価活動の実際

組み合わせや形などで、体格やイメージを変えられることが分かった。いつも同じような感じなので、たまには変えたいと思った。(男子)

今日の授業で、服によって自分をいろいろなように見せられることが分かりました。いままで夏やTシャツと短パンで、洗たく物の上から取っていて、あまり考えていなかったけど、これからはT. P. O. や色を考えてコーディネートしていきたいです。(女子)

自分ではない人の服でコーディネートしたりして、ふだんみんなの私服は分からなかったけど、こういう服で、こんなコーディネートができるんだ～っていうことが分かりました。(女子)

ふだん何気なく着ていた衣服も、こうやって考えると、自分のことを表せるいい機会なんだと思いました。また、自分でコーディネートを考えてみたので、家のものなどを使って、自分のもので、コーディネートを考えてみたいです。(男子)

今日の授業でT. P. O. に合わせた色の使い方やシルエットの使い方が分かりました。上は〇〇だから、下は〇〇しようなどと、上と下のバランスを考えながらコーディネートすることが大切だということが分かりました。(女子)

今日の授業では、T. P. O. に合わせたコーディネートをした。色、柄、形で目的に応じたコーディネートができてよかった。この授業で学んだことを、日常生活にも活かしていきたい。色、柄、形で、自分をどう見せるかを表現できることが分かった。(女子)

今までは「コーディネートはこうでねえと。」って感じでこだわったりせずに、てきとうにあったものを着るといった感じだったけれど、着るものが違うだけで印象もかわることを知ったので、これからはもう少しだけこだわってみたなあと思いました。(女子)

その時、場所、場合に合わせて、服装の色や形を考えると、服を選びやすくなったりするし、錯視を使うと、体型を思うように見せることができる。(男子)

T. P. O. を考えながらやると、自分では地味になってしまうところも、班員と一緒に考えてみると、明るく楽しい感じになりました。わたしだったら、絶対に8番の服を選ぼうなあと思いました。(女子)

今日学習して、色によってうける印象が全くちがうと感じました。えりの形でも首が長く見えたり、短く見えたり、ボーダー一つとっても、太く見えたり細く見えたりしておもしろかったです。これからコーディネートするときは、色や形に気をつけてしていきたいです。私は紺とかが好きです。(女子)

今日の家庭科の授業で、T. P. O. という言葉や、いろんな服の合わせ方を知りました。今までは、親に決めてもらっていたので、これからは、自分でやってみたいと思いました。(男子)

自分で服を考えて買うことはあっても、考えて着ることがないので、これからは考えて服を着たいです。ぼくは、まだまだ色彩感覚がつかめていないのでつかめるようになりたいです。(男子)

T. P. O. というのを初めて知りました。みんながもちよった服をコーディネートして、どうすればいい感じの服ができるのか考えてできました。休日、コーディネートするときに、T. P. O. に気をつけたり、今の気持ちを表せるようなコーディネートをしたいです。(女子)